

事後評価結果（平成29年度）

担当課：北海道開発局建設部道路計画

担当課長名：橋本 幸

事業名	一般国道334号 宇登呂道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道斜里郡斜里町字宇登呂 至：北海道斜里郡斜里町字オシンコシン	延長	5.6 km		

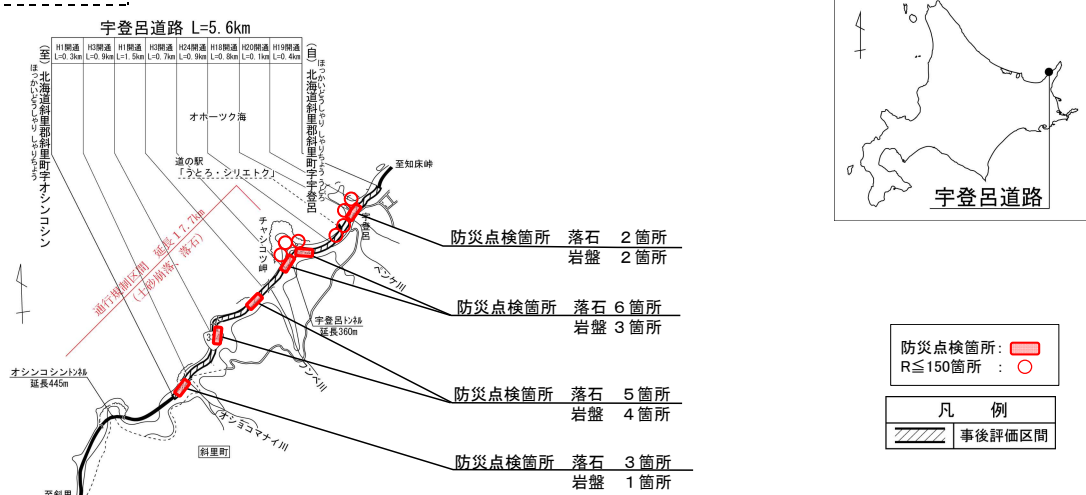
事業概要

国道334号は、羅臼町を起点とし、斜里町を經由して美幌町に至る延長約121kmの幹線道路である。宇登呂道路は、土砂崩壊を要因とする通行規制区間、危険箇所等の解消及び交通混雑の低減を図り、道路の安全な通行の確保を目的とした、延長5.6kmの事業である。

地域の防災上課題

- ・ 防災点検の結果、対策等が必要と判断された箇所が26箇所存在。
（岩盤崩壊：10箇所、落石崩壊：16箇所）
- ・ 平成12年度には、土砂崩壊などにより約84時間にわたる通行止めが発生。
- ・ 当該区間の防災面の課題は、斜里町ウトロ（人口：約1,200人）において日常生活や経済活動を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、斜里町からも改善の要望が出されているなど、地域の喫緊の課題となっている。

事業概要図



事業の効果等	事業期間	事業化年度：S60年度 都市計画決定：一年度	用地着手：S62年度 工事着手：S61年度	供用年：(当初)一/H20年度 (暫定/完成)：(実績)一/H24年度	変動	1.1倍
	事業費	計画時：(名目値) 一/102億円 (暫定/完成)：(実質値) 一/96億円	実績：(名目値) 一/129億円 (暫定/完成)：(実質値) 一/120億円		変動	1.3倍
費用対効果分析結果等	費用対効果分析結果 (当初)	事業の効果等 ○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等（246億円）			費用	130億円 事業費：130億円 維持管理費：0億円
	費用対効果分析結果 (事後)	事業の効果等 ○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等（58億円） ○災害による被害の回避等（11億円） ・ 救急搬送の効率化及び遅延の回避 ・ 宿泊機械の取り止め回避 ○地域住民の不安感の解消（377億円） ・ 走行時の安心の確保・不安の解消 ○その他（6.9億円） ・ 余裕時間の短縮 ・ CO2排出削減の効果			費用	246億円 事業費：236億円 維持管理費：10億円

	<p>事業遅延の理由</p> <p>本事業は昭和60年度に事業化し、昭和61年度に工事着工した。 当初、平成21年度の完成を目指していたが、埋蔵文化財調査及び法面对策工に時間を要したことにより事業完了が平成24年度になった。</p>
	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <p>事業の整備効果</p> <p>①通行規制の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災上の要対策箇所が解消し、通行規制基準が緩和されるなど、道路交通の安全性及び確実性が向上 <p>②住民生活の安定性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災上の要対策箇所が解消し、通行規制基準が緩和（連続雨量70mm以上→140mm以上）されたことで、通行止めによる大規模迂回や集落の孤立化が減少し、住民生活の安定性向上に寄与 <p>③水産品の流通利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路線形の不良や狭小幅員などの改善により、安定性の高いルートが確保され、水産品の流通利便性向上に寄与 <p>④救急搬送の安定性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次医療施設への安全性及び確実性の高い救急搬送ルートが確保され、地域医療の確保に寄与 <p>⑤地域プロジェクトの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点へのアクセスが向上するなど、観光・漁業の基盤産業を支える地域プロジェクトに貢献
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
事業による	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>環境影響評価は対象外事業である。</p>
環境変化	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
事業評価監視委員会の意見	<p>当委員会に提出された事後評価結果準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。</p>
事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>○人口・産業等の社会経済情勢の変化（対象地域：斜里町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口は、事業化当時1.6万人(S60)→開通後1.2万人(H27)であり、減少傾向にある。(国勢調査) ・漁獲金額は、事業化当時約54億円(S60)→開通後約101億円(H27)となっている。 (マリンネット北海道) ・観光入込客数は、事業化当時約1,102千人(S60)→開通後約1,183千人(H28)となっている (北海道観光入込客数)
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性	<p>宇登呂道路の整備により、土砂崩壊を要因とする通行規制区間、危険個所の解消を図り道路の安全な通行の確保など当初の目的が達成されていることから、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないものとする。 なお、今後も利用状況の把握に努めるとともに、利用しやすい道路環境を確保するため、適切な維持管理に取り組んでいく。</p>
同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	<p>工事工程の調整や町並み景観などを検討するための関係機関で構成される連絡調整会議を開催するなど、近接する他事業と連携することで、事業を円滑に進めることができた。 今後も、早い段階から計画的かつ十分な関係機関との連絡・調整が重要である。</p>
特記事項	<p>特になし</p>

※ 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※ 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。